Panasonic

SmartArchi

取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

品番　FYY54050F

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

取付前のご確認事項

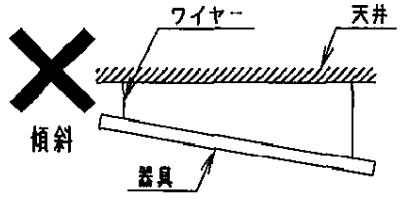
●この器具は、次の吊具と適合します。

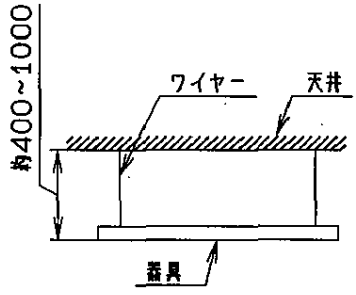
品　名	品　番
ワイヤー吊具　端用電源線付	FYY80030
ワイヤー吊具　端用	FYY80031
ワイヤー吊具　端用・PX用	FYY80032

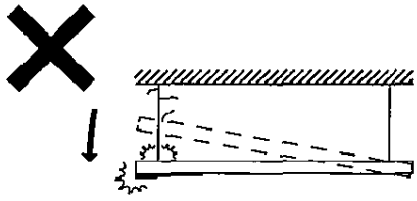
安全に関するご注意

⚠警告

● 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
● 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
● 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しない。
感電・火災の原因となります。
● この器具は吊下げ（ワイヤー）専用器具です。当社適合吊具以外は使用しない。
落下の原因となります。（吊具の取扱説明書又は、カタログにてお確かめください。）
● 傾斜天井・壁面への取付はしない。落下の原因となります。
● この器具を傾斜させて取付しない。落下の原因となります。
● この器具は2本吊り専用です。これ以外の本数での取付けはしない。落下の原因となります。
● 開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。（別途）
● この器具の設定可能高さは約400mm～約1000mmです。
これ以外の長さでワイヤー吊りをしない。落下の原因となります。
● ワイヤーに衝撃を加えない。落下の原因となります。
● 吊具に衝撃が加わった場合は、異常が無いか下記ポイントについて確認する。
異常があるまま使用すると、落下の原因となります。

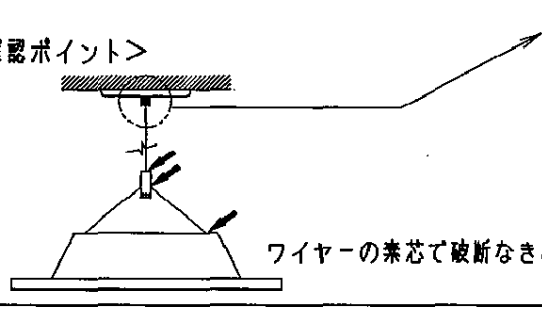




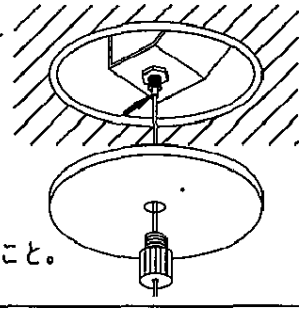


ワイヤーに衝撃を加えないこと。

<確認ポイント>



ワイヤーの素芯で破断なきこと。



⚠注意

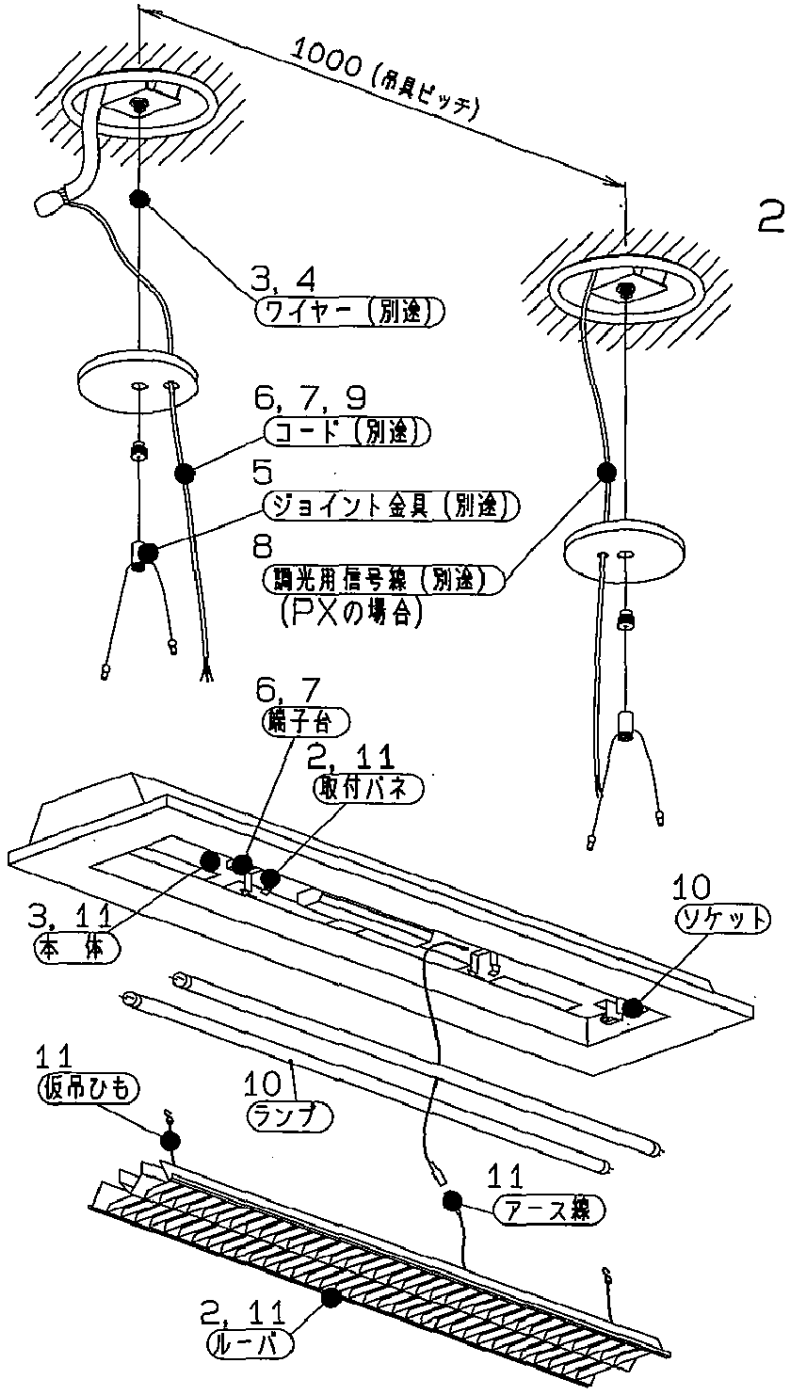
● 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
● 周囲温度は、5～35℃以外では、使用しないでください。　火災の原因となります。

各部のなまえと取付方法

⚠警告

施工は取付方法にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

≪ワイヤー吊り専用≫

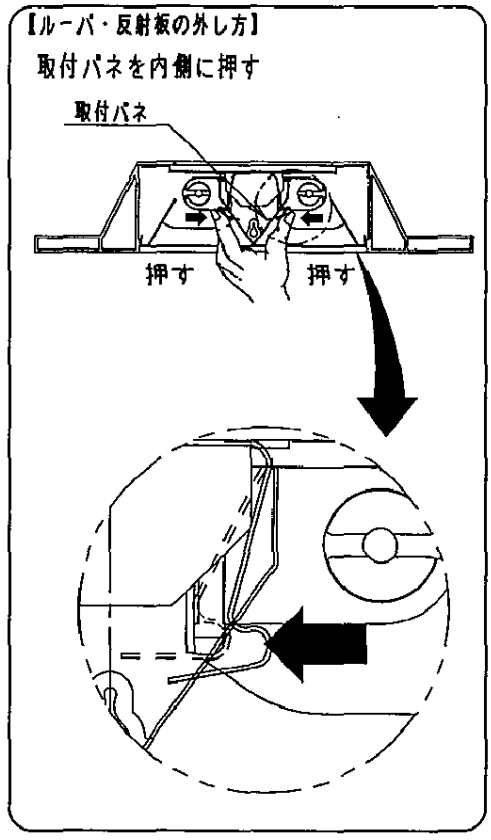


1 取付前の確認

・器具質量（10.9kg: FYY54050F）に十分に耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。
不備があると器具落下の原因となります。
（詳しくは吊具取扱説明書をご覧ください。）

2 ルーバを外す

・取付バネを内側に押してルーバを取り外す。

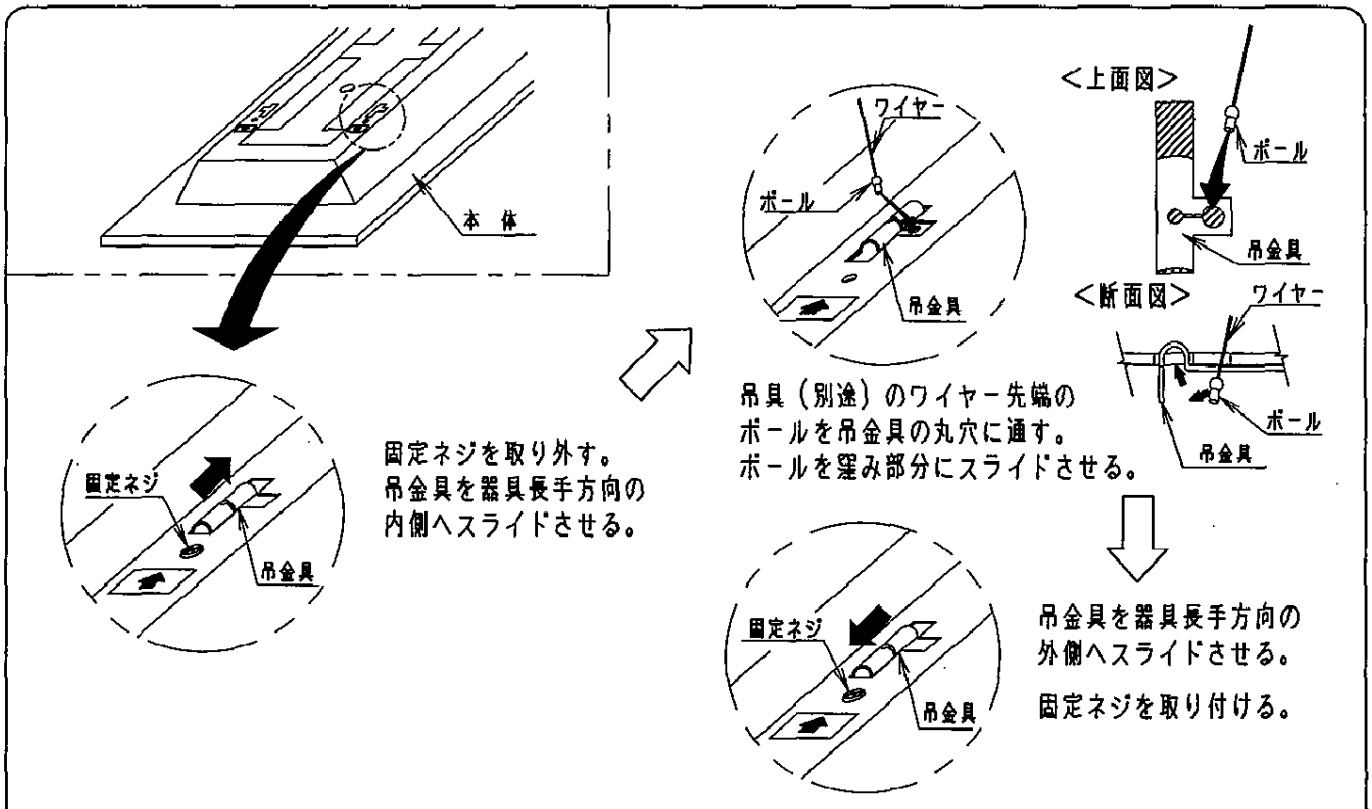


（この続きの施工手順は、次ページをご覧ください。）

各部のなまえと取付方法

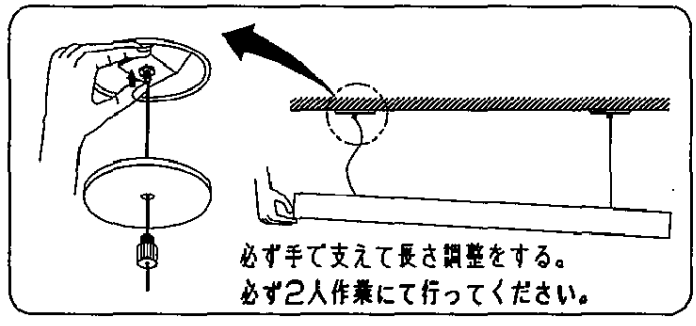
3 器具の取付

・あらかじめ器具が水平になるよう、ワイヤー長さを調整しておく。
（詳しくは吊具取扱説明書をご覧ください。）
施工は必ず2人作業にて行ってください。



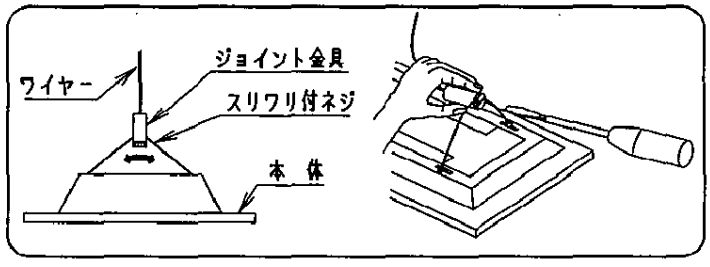
4 吊高さの微調整

・器具が水平になるように、ワイヤー長さを微調整する。
（詳しくは吊具取扱説明書をご覧ください。）
・調整時は必ず器具を手で支えた状態でおこなう。
器具を支えずに行うと、器具落下の原因となります。
・調整後、ワイヤーに異常がないか確認する。
異常があるまま使用すると、器具落下の原因となります。



5 器具の傾きの調整

・吊具（別途）のジョイント金具のスリワリ付ネジを緩めて、
器具を水平にする。
・吊具のスリワリ付ネジをネジ回しにて確実に締め付ける。
取付が不完全な場合、器具傾きの原因となります。

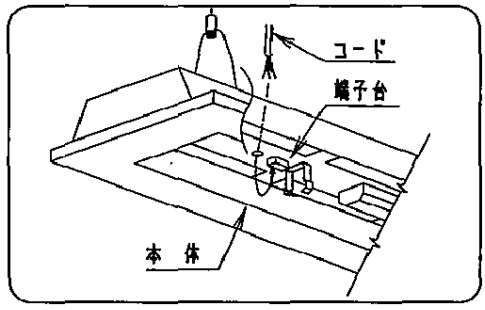


（この続きの施工手順は、次ページをご覧ください。）

各部のなまえと取付方法

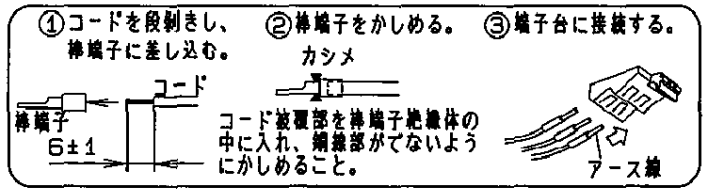
6 器具内へのコード引込み

・器具の電源穴よりコード（別途）を通す。
吊具同梱のコードを使用してください。
指定以外のコードでは火災・感電の原因となります。



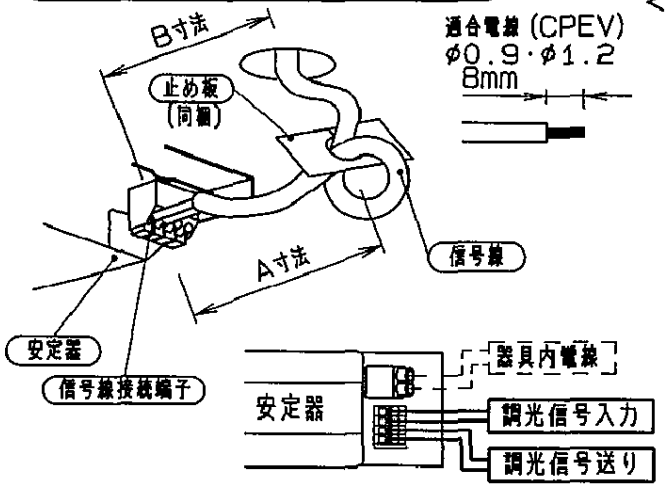
7 端子台へのコードの接続

・コード先端を段剥きし、吊具同梱の棒端子を確実にかしめる。
不備があると、火災・感電の原因となります。
・棒端子を端子台の速結穴の奥まで確実に差込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。



8 信号線の接続（PX方式のみ）

安定器の信号線接続端子に接続する場合



<信号線の接続と張力止め>

●同梱の止め具を使用して信号線の張力止めをしてください。
●安定器の信号線接続端子に直接張力が加わらない様に調整して下さい。

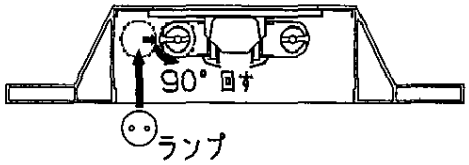
1．信号線を同梱の止め具に通す。
2．止め具を一周させもう一度信号線を止め具に通す。
A寸法がB寸法より長くなる様に調整してください。
不備があると正常に調光できなくなります。
3．信号線を安定器の信号線接続端子差込穴に確実に差し込む。
・安定器の表示ラベルに合わせてください。
・信号線に極性はありません。
・信号線接続端子の容量は2Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、
正常に調光できなくなります。
4．信号線・止め具が本体から飛び出さない様に収納してください。
不備があると反射板等落下の原因となります。

・適合コントローラ
●インバータライコン
●セルコン（セルコン・セパ，コンビニセルコン，スーパーマーケットセルコン等）
●調光T/U等
・上記以外のものを使用の場合は弊社までお問い合わせください。
・コントローラとの結線又は制御可能台数は使用するコントローラの説明書を参照ください。

9 コードの収納方法

・電源線接続後、余分なコードは反射板との当たりを防ぐため、器具外部に出し、吊具内部に収納し、余分なコードは切断すること。
収納が不完全な場合、感電・ルーバ落下の原因となります。

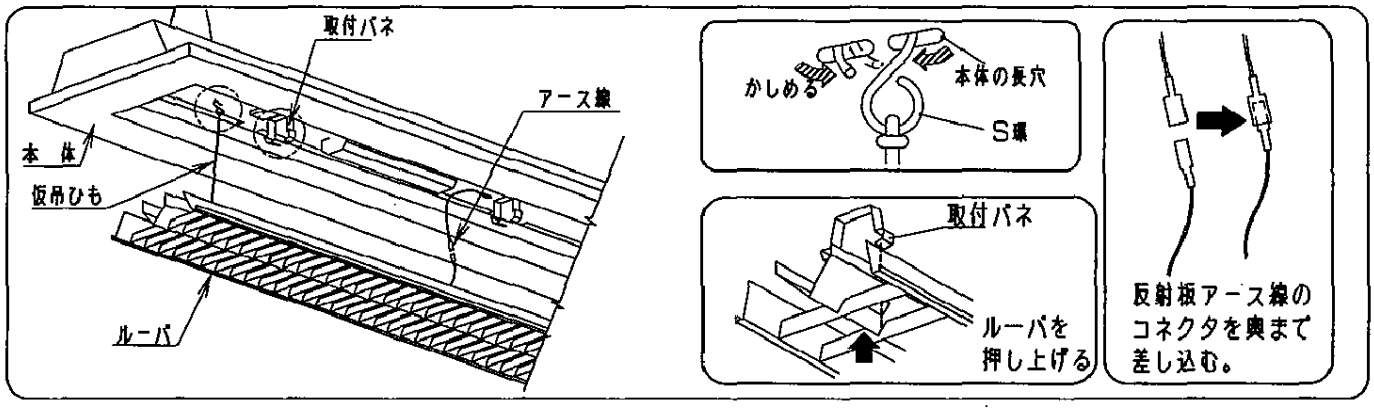
10 ランプを確実に取り付ける



ランプの取付が不完全な場合、点灯せず、
火災の原因となります。

11 仮吊ひも・ルーバの取付

・仮吊ひもを本体の長穴に通し、S環をかしめる。
・本体とルーバ中央の反射板に設けられたアース線を接続する。
・取付バネにルーバを押し込み確実に取り付ける。
・ルーバ取付後下に引き下げ、確実に取り付いていることを確認してください。
取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 地震・大きな振動または衝撃が器具に加わった場合には、ワイヤー部分に異常がないか確認する。
  異常があるまま使用すると、落下の原因となります。

⚠注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。
  設置して10年（※）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長期間使い続けるとまれに感電・火災などに至る場合があります。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し対策を講じて下さい。

保証について

・保証について
　この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
　ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について
　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間
　弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。

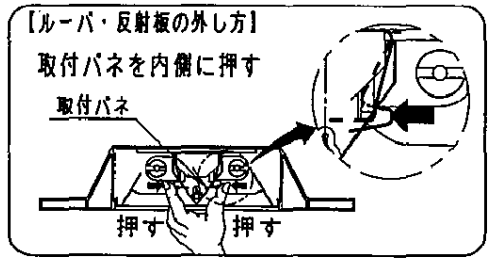
お手入れ・ランプ交換　⚠注意（必ず電源を切って行なってください。　感電の原因となります）

・器具の清掃について　・・・・・　・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
　シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。
　変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

・ランプ交換について　・・・・・　・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
　（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）

交換部品	Hf蛍光ランプ	FHF32EX

1．ルーバを取りはずす。（右図参照ください。）
2．使用済みランプを90°回転して取りはずす。
3．新しいランプをソケットに差込む。
4．ランプを90°回転させる。
5．ルーバを取付ける。
　取付が不完全な場合、
　ルーバ落下の原因となります。



パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（FAX）

S0405-031211